

令和4年 死亡災害等事例(令和5年3月31日現在)

1 死亡災害

No.	発生月	業種	事故の型	災害発生状況	被災者数
	発生時間帯		起 因 物		
1	1月 16-17	建設業	崩壊・倒壊 その他の環境等	河川道路護岸工事現場において、道路山側の上方約30m付近の斜面から幅5m・長さ10m・深さ1mにわたり全層雪崩が発生し、道路河川側で作業中の2人の作業員のうち1人が巻き込まれ、約8m下方に流された。約30分後に堆積した雪の中から救出されたが、搬送先で死亡が確認されたもの。	1名
2	3月 19-20	建設業	交通事故(道路) 乗用車、バス、バイク	被災者は翌日より予定されている県外での建設工事のため、前泊する宿泊地に向け、ワゴン車を運転していたもの。高速道路を走行中、体調不良を起こしたため、一旦路肩に停車させ、同僚が助手席から車外に降り、運転を替わろうとしたが、ワゴン車は急発進し、側壁等に衝突したもの。	1名
3	4月 14-15	運輸交通業	墜落・転落 その他の環境等	スキー場のゲレンデ内において、単独でクレバスと呼ばれる雪渓に形成された深い切れ目付近で、スキー客がクレバスに近づかないよう周囲を竹棒で囲いロープを張る作業中、幅約50cm、長さ約50m、深さ約10mのクレバスに転落した。その後救出されたが、搬送先で死亡が確認されたもの。	1名
4	6月 12-13	建設業	激突され 高所作業車	地すべり排水トンネル工事の坑内において、路盤平均勾配が2°～3°の場所に高所作業車を停車して運転手が運転席を離れた際、車両が後方に逸走し、車両後方で路盤清掃作業をしていた作業員が車両に激突され死亡したもの。	1名
5	10月 9-10	運輸交通業	墜落・転落 トラック	ロープウェイの上駅と下駅を結ぶ管理用道路(道路幅約3.2m・アスファルト舗装)において、軽トラックを運転し、下駅にゴミを降ろす作業を終え上駅に戻るため、上り坂(勾配角度約5度)を走行中、車両が道路右側の崖(ガードレールなし)から約80m下の立木まで転落・激突し、運転していた被災者が死亡したもの。	1名
6	10月 14-15	林業	崩壊・倒壊 立木等	山林の伐木作業現場の斜面下において、グラップル(車両系木材伐出機械)を運転し、伐木した原木の集材作業中、斜面に積まれた原木が滑り落ちグラップルの運転席に激突し、運転していた被災者が死亡したもの。	1名
7	12月 8-9	建設業	墜落・転落 その他の用具	下水道工事現場において、ダンプトラックの荷台に積載されたドラグショベル(掘削用機械)を、荷台から地面へ2本の道板を架けて自走させる作業中、道板が外れてドラグショベルが転落し、運転していた被災者が投げ出され、ドラグショベルの屋根部と地面に挟まれ死亡したもの。	1名

※ 上記以外に「過重労働による脳・心臓疾患」によるものが1名。

2 一時に3人以上被災した災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
				(現在、把握しておりません)	

3 工業中毒等

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	5月 13-14	製造業	有害物等との 接触 危険物・有害 物等	工場内の、次亜塩素酸ナトリウム製造のための反応槽に設置されているORP(酸化還元電位)計の定期洗浄作業終了後、被災者が息苦しさを訴えたため、医療機関を受診したところ化学物質性気管支炎等(原因物質:塩素)と診断されたもの。	1名
2	6月 15-16	教育・研究 業	有害物等との 接触 危険物・有害 物等	工場内で、被災者がドープ調整作業(製品の原料となるタンパク質粉末と蟻酸を混合し、タンパク質粉末を溶解する作業)で、使用された容器に付着した原材料を除去する作業中、蟻酸を吸引して気管支炎を発症したもの。	1名
3	9月 13-14	商業	有害物等との 接触 危険物・有害 物等	集合住宅の浴室内のクリーニング作業で、酸性洗剤とカビ取り用洗剤(次亜塩素酸塩)を使用して行っていたが、作業終了後に被災者に頭痛、喉の痛み等の症状があり、医療機関を受診したところ急性薬物中毒(原因物質:塩素ガス)と診断されたもの。	1名